

令和元年度

NPO 美しい田園21 活動記録

1. 東 北

『耕作放棄地解消支援活動(じゃがいも準備、植付け)』

平成 31 年 4 月 24 日(水)午前 8:45 から宮城県加美郡やくらいで行われたNPO 法人田園21東北支部主催の耕作放棄地解消支援活動(じゃがいも準備、植付け)に 23 名(会員数13 名)参加した。

この支援活動は、耕作放棄地解消支援の一環としてじゃがいもの植栽活動を実施したものです。

百姓塾の加藤塾長により植付けの方法を説明して頂いてから、男爵6畝、メークイン2畝を植付けました。植付け時には、ビニールマルチに穴をあけ、種芋を丁寧に植付け、風でマルチが飛ばされないよう丁寧に土かけなどを行いました。

なお、植え付けに先だち主に役員による種芋の加工を行いました。

種芋の加工、カット→灰汁付け



穴掘り→植付け→土かけ



マルチの整備



集合写真



『耕作放棄地解消支援活動(さつまいも植栽、じゃがいも芽欠き)』

令和元年 6 月 5 日(水)午前 8:30 から宮城県加美郡やくらいで行われた、NPO法人田園21東北支部主催の耕作放棄地解消支援活動(さつまいも植栽、じゃがいも芽欠き)に 39 名(会員数 23 名)参加した。

この支援活動は、耕作放棄地解消支援の一環としてさつまいもの植栽活動を行うもので、当日は天気も良く、塾長から「しっかりと深く植付けないと枯れてしまうぞ」と今年も叱咤激励をいただきました。

苗は概ね 800 本です。昨年より数は減りましたが、畝の長さが約 70m と長いため、会員や会員の所属する会社の方々の協力無しでは出来ない作業です。

また、じゃがいもの芽欠き・除草作業を行いました。じゃがいも畑も畝の長さ約 50m あります。

塾長のさつまいも植付け指導



植付け作業



じゃがいもの芽欠・除草作業



集合写真



『耕作放棄地解消支援活動(さつまいもマルチの整備、じゃが

いも畑除草、イノシシ対策)』

令和元年6月21日(金)午前8:30から宮城県加美郡やくらいで行われた、NP
O法人田園21東北支部主催による耕作放棄地解消支援活動(さつまいもマルチ
の整備、じゃがいも畑除草、イノシシ対策)に10名(会員数7名)参加した。

塾長からの連絡(強風によりマルチが剥がれてきたようだ。)により、耕作放棄地
解消支援の一環として急きょ植栽したさつまいも畑のマルチの整備を実施しまし
た。また、例年草が出始めるとあっという間に藪になってしまうので、少ない人数で
したが、じゃがいも畑の除草活動も実施しました。畝間は人力で、周辺の除草は機
械により実施しています。

さつまいもマルチの整備



じゃがいもの除草作業(機械)



じゃがいもの除草作業(人力)



集合写真



『耕作放棄地解消支援活動(じゃがいも及びさつまいも畑のイノシシ対策)』

令和元年 7 月 9 日(火)午前 8:30 から宮城県加美郡やくらいで行われた、NP
O法人田園21東北支部主催による耕作放棄地解消支援活動(じゃがいも及びさ
つまいも畑のイノシシ対策)に 6 名(会員数 6 名)参加した。

この支援活動は、耕作放棄地解消支援の一環としてじゃがいも及びさつまいも
畑のイノシシ対策作業(電気柵の設置)を実施するものです。

さつまいも畑には既にイノシシが侵入した形跡がありましたが、まだ芋が出来て
いない時期であったので大きな被害はありませんでした。じゃがいも畑には生では
苦いのでイノシシの被害は無いものと思い、イノシシ対策を考えていませんでした
が、広い面積でいたずらをした形跡があり、塾長の指導・資材協力により急きょ設
置しました。

さつまいもイノシシ侵入跡



電気柵設置状況(さつまいも畑)



じゃがいものイノシシ被害



集合写真
(じゃがいも畑 電気柵設置後)



『耕作放棄地解消支援活動(大根播種及びじゃがいも収穫祭)』

令和元年 7 月 27 日(土)午前 8:00 から宮城県加美郡やくらいで行われた、NPO 法人 田園21東北支部主催の耕作放棄地解消支援活動(大根播種及びじゃがいも収穫祭)に 91 名(会員数 33 名)参加した。

この支援活動は、耕作放棄地解消支援の一環としてじゃがいもの収穫作業を実施するものです。大根播種作業は1班 5～6 名で行うこととし、並行でじゃがいもの収穫準備(草取り)後収穫を行いました。じゃがいもの収穫は、5 kg 入りの袋 93 袋を収穫しました。今年、じゃがいも畑にイノシシが侵入したため、約半分の面積で被害を受けてしまいました。また、収穫後有志によりさつまいも畑の除草を行いました。活動している畑は、周りの畑に比べても手入れが行き届いていました。

じゃがいもの収穫



大根播種



集合写真(お疲れ様でした)



集合写真(さつまいも畑の除草後)



『耕作放棄地解消支援活動(大根及びさつまいも畑除草)』

令和元年 8 月 29 日(木)午前 8:00 から宮城県加美郡やくらいで行われた、NPO 法人田園21東北支部主催による耕作放棄地解消支援活動(大根及びさつまいも畑除草)に 32 名(会員数 16 名)参加した。

この支援活動は耕作放棄地解消支援の一環として大根畑とさつまいも畑の除草作業を行うものです。真夏の厳しい暑さの中での除草作業です。大根畑の畝は約 50m あり、取っても取っても終点が遠く作業は辛かったです。除草後の大根は写真のとおり生き活きしており、達成感がありました。その後、さつまいも畑の除草を行いました。畝間は、葉がびっしり繁茂していたため行わず、イノシシ対策の電気柵が漏電しないよう、柵周りの除草を行いました。

大根畑の除草(大変な面積です)



除草後の大根は生き活きしてま



サツマイモ畑の除草(電気柵周り)



集合写真



『耕作放棄地解消支援活動(さつまいも及び大根収穫祭)』

令和元年 10 月 26 日(土)午前 8:3 から宮城県加美郡やくらいで行われた、NPO 法人田園21東北支部主催の耕作放棄地解消支援活動(さつまいも及び大根収穫祭)に 86 名(会員数 27 名)参加しました。

この支援活動は、耕作放棄地解消支援の一環としてさつまいも及び大根の収穫作業を行うものです。最初に、イノシシ対策の電気柵の撤去⇒さつまいものツル切り・畑の外への搬出⇒マルチ撤去⇒そしてさつまいもの収穫です。

さつまいもは 5kg 入りの袋約 100 袋目標に対して、約 1.5 倍の収穫でした。その後、大根の収穫です。大根は目標分の抜き取りとしました。土のう袋約 100 袋(10 本程度入り)の収穫です。さつまいもも大根も育ち過ぎでしたので、来年度は収穫時期の見直しなどが必要と思われました。でも、いずれも美味しかったです。



さつまいも畑ツル切、マルチ撤去



サツマイモの収穫



大根の収穫



集合写真(お疲れ様でし

2. 関 東

『第 22 回千葉の水回廊ウォーク&疎水百選 印旛沼ウォーク』

平成 31 年 4 月 6 日(土)10 時、NPO 法人ちば歩こう会主催による印旛沼ウォークが参加者 299 名(うち会員 95 名)で新検見川公園をスタートし、大和田機場までを歩きました。

花見川は、印旛沼干拓事業において印旛沼の洪水を東京湾に流すため建設された排水路です。この花見川沿いの環境保全を目的として花見川沿いのゴミを拾いながら歩きました。

ゴールの大和田機場では、各々が分別して拾ったゴミが集まりました。集積場所では更に細かい分別を行い処理の軽減を図りました。

去年は葉桜でしたが、今年は程よい寒暖で桜が長持ちし、満開の下での活動ができました。天候にも恵まれ、穏やかな春の日差しのなかで自然に触れながら、充実した活動でした。



スタート地点での参加者



注意事項を聞く参加者



ゴミを拾いながら歩く参加者

『第9回両総用水の路ウォーク《茂原～大網白里》』

令和元年6月1日(土)にNPO法人千葉県ウォーキング協会主催、美しい田園21協賛で開催されました。

当日は9時30分に参加者230名(うち会員8名)が、JA長生本納支所をスタートし、用水路等を見学しながらJR大網駅前ゴールまで全員完歩しました。

工程は茂原市の北部、本納から大網駅に広がる水田地帯を約11km歩くもので美しい田園21は関係団体と共にウォークの運営支援を行いました。

コース途中では主要な農業用水施設(南部幹線用水路、本納南分水口)で施設管理者が実際の施設で機能説明し、昼食会場では改良区からパネル等で事業地区について説明がありました。

また、大網白里市の史跡である南玉不動尊の滝を見学し、施設と施設の間は、一面水田が広がる中を自然に触れながら歩行しました。



スタート地点でストレッチをする参加者



分水口の説明を受ける参加者



刈入れを待つ麦畑を歩く参加者



水田が広がる農道を歩く参加者

3. 北 陸

『 福島潟クリーン作戦 』

平成 31 年 4 月 13 日(土)午前 9:00 から新潟県新潟市福島潟干拓地内で行われた、福島潟環境保全対策推進協議会主催の福島潟クリーン作戦に 700 名(うち会員数 10 名)参加した。

この活動は、国営福島潟干拓地内周辺の清掃ボランティア作業を行うもので、今回は平成最後となる清掃ボランティアであったが、晴天に恵まれ、桜が満開の中での大規模な清掃活動でした。



主催からの挨拶



ゴミ拾い作業中



ゴミ集積作業中



集合写真

『 国営白根郷地区ウォーキングと清掃ボランティア 』

平成 31 年 4 月 14 日(日) 午前 9:30 から新潟県新潟市白根で行われた、水土里ネット白根郷主催の国営白根郷地区ウォーキングと清掃ボランティアに 129 名(うち会員数 2 名)参加した。

この活動は、国営総合農地防災事業白根郷地区で造成した白根郷排水機場周辺の清掃ボランティア作業を行うもので、今年は昨年とうって変わって、天候に恵まれ、暖かな日和での清掃ボランティアでした。



主催からの挨拶



ゴミ拾い作業中



ゴミ拾い作業中



集合写真

後谷ダム草刈活動

令和元年5月19日(日)午前 8:00から新潟県柏崎市西山町別山(後谷ダム)で行われた後谷集落主催の後谷ダム草刈り活動に9名(うち会員数1名)参加した。

この活動は、国営柏崎周辺農業水利事業で造成した後谷ダムの堤体及び周辺の草刈りをダム下流集落である後谷集落と一緒に実施もので、当日は5月中旬なのに真夏を思わせる気温の中、今年から新たに加わった乗用式草刈機隊と肩掛け式の草刈隊に別れ作業を行いました。

年々参加者が少なくなったことや参加者が高齢化したこともあり、休憩ばかりが増え、思ったペースで作業が進みませんでした。

今回は農政局職員退職者を中心に声かけをしながら、後谷集落と協働して参加者の増員を図りながら草刈を継続していきます。



草刈り作業に参加した精鋭



新たに加わった乗用式草刈



年配者にとっては日陰と休養は大



長い斜面も人海戦術で

『 坂井北部耕作放棄地解消活動 』

令和元年5月30日(木) 午前9:00から、坂井北部地区開拓地(あわら市二面の圃場)で行われた坂井北部土地改良区主催の坂井北部耕作放棄地解消活動に 15 名(うち会員数 6 名)参加した。

本活動は「国営総合農地開発事業」で造成した農地で、耕作放棄地化した畑を少しでも解消するため土地改良区が中心となり、平成21年度から実施している。

これまで3か所のほ場で再生活動を行い、おのおの3年間作付したのち地権者に返還し作付をしてもらっている。

これまでは近隣の2ヶ所の保育園と交互にサツマイモの定植を行ってきたが、今年の定植は NPO 会員やボランティアのおじさんたちで行い、収穫は 2 ヶ所の保育園合同で行うこととなった。



定植作業



園児のいないほ場での説明



へらを使い上手に定植



NPO 会員の集合写真

『 河北潟干拓地環境保全向上活動 』

令和元年6月1日(土) 午前9:00から河北潟干拓地内で行われた、グリーン・アース農地・水環境保全組織(河北潟干拓土地改良区内)主催の河北潟干拓地環境保全向上活動に約300名(うち会員数14名)参加した。

本活動は「国営河北潟干拓事業」で造成した農地を対象に年2回(6月、10月)実施している「河北潟干拓地の環境保全向上活動」の一環で、「グリーン・アース農地・水・環境保全組織」の要請を受け、構成団体等から約300人の参加を得て実施されました。当日はあらかじめ指定された場所の空き缶等ゴミ拾いや道路沿いの除草作業を行いました。



作業手順等の説明



ゴミ拾い作業



刈り倒した草



集合写真

『 亀田郷一斉清掃 』

令和元年 6 月 2 日(日)午前 9 時から新潟県新潟市親松排水機場周辺で行われた亀田郷不法投棄対策連絡協議会主催の亀田郷一斉清掃に 1,200 名(うち会員数 4 名)参加した。

この活動は、国営亀田郷農業水利事業で造成した親松排水機場周辺の一斉清掃として毎年実施しています。

当日は「海ごみゼロウイーク(5 月 30 日～6 月 8 日まで)」に合わせ、「道路沿いや農地周辺のごみ拾いは海をきれいにするための出発点。一人ひとりの行動で海を守りましょう」を合言葉に清掃活動を行いました。

年々収集されるゴミの量は減ってきているものの、まだまだ空き缶、空き瓶や家庭ごみ、粗大ゴミなども多く見受けられました。



主催者からの説明



海ごみゼロウイーク



収集されたゴミの山



集合写真

『 柴山潟クリーン作戦 』

令和元年 8 月 3 日(土)午前 7:30から石川県加賀市柴山潟正面堤防周辺で行われた、加賀三湖土地改良区主催の柴山潟クリーン作戦に 150 名(うち会員数 10 名)参加した。

本活動は「国営干拓事業加賀三湖地区」で造成した柴山潟湖の干拓堤防内に流れ着くゴミを回収するため毎年8月に実施しているものです。

今年も早朝7時半という時間帯なのに気温はどんどん上昇し、日陰や休憩所のない片道 1.8kmのゴミ拾いを行い戻ってくるコースです。

大きなプラスチックごみは比較的少なくなった気がしますが、小さなプラスチックごみは雑草の中に隠れており、ゴミひらい用のはさみで拾らうのは結構大変です。



作業前説明



湖畔周辺のゴミ拾い



ゴミ拾い作業中



集合写真

『 河北潟干拓地環境保全向上活動 』

令和元年 10 月 5 日(土) 午前9:00から河北潟干拓地内で行われた、河北潟干拓地環境保全向上活動をグリーン・アース農地・水環境保全組織(河北潟干拓土地改良区内)主催の河北潟干拓地環境保全向上活動に約 150 名(うち会員数16 名)参加。

本活動は「国営河北潟干拓事業」で造成した農地を対象に年2回(6月、10月)実施している「河北潟干拓地の環境保全向上活動」の一環で、「グリーン・アース農地・水・環境保全組織」の要請を受け、構成団体等から約 150 人の参加を得て実施されました。

当日は雨上がりの曇天の下、干拓地内の道路周辺の草刈・ゴミの収集作業を行いました。NPO会員も高齢化する中、広い干拓地内のゴミを拾う部隊と草刈りをする部隊に別れ積極的に参加しました。



作業手順等の説明



ゴミ拾い作業



一時の休憩



集合写真

『坂井北部耕作放棄地解消活動』

令和元年 10 月 7 日に坂井北部地区開拓地(あわら市二面の圃場)で坂井北部土地改良区主催の坂井北部耕作放棄地解消活動に 80 名(会員 7 名)参加しました。

本活動は「国営総合農地開発事業」で造成した農地で、耕作放棄地化した畑を少しでも解消するため土地改良区が中心となり、平成21年度から実施。

これまで3か所のは場で再生活動を行い、おのおの3年間作付したのち地権者に返還し作付をしてもらっている。

今年は 5 月30日に定植したサツマイモ「紅あずま」の収穫を地元の2保育園(昨年までは芦原こども園と金津こども園が交互。今年は合同)60 名参加のもと収穫しました。



皆で芋ほり作業開始



大きいの採れたぞ！



収穫したサツマイモの山



NPO 会員の集合写真

『 西蒲原地区クリーン作戦 』

令和元年 10 月 27 日(日)午前 9:00から新潟県西蒲原地区内(排水機場など 6 会場)で行われた、西蒲原地区広域土地改良事業推進協議会主催の西蒲原地区クリーン作戦に 350 名(うち会員数 10 名)参加した。

本活動は「国営西蒲原地区」で造成した排水機場や排水路のゴミを回収するため毎年月に実施しているものです。

今年も生憎の雨の中での活動(去年は台風で中止)となり、参加者は雨具を着ての作業となりました。活動の成果なのか年々ゴミの量が少なくなっている気がします。



作業前の理事長挨拶



ゴミ拾い作業中



ゴミ拾い作業中



集合写真(七穂排水機場)

『 邑知潟周辺クリーン作戦 』

令和元年 11 月 2 日(土)午前 8:00から石川県邑知潟干拓地で行われた、邑知潟地区管理体制整備推進協議会主催の邑知潟周辺クリーン作戦に 300 名(うち会員数 6 名)参加した。

本活動は、「国営邑知潟干拓地区」で造成した干拓地内のゴミを回収するため毎年月に実施しているものです。

今年は天候に恵まれましたが、気温が低くめで吹く風も冷たく、活動するには会員には厳しい状況での作業となりました。

活動は毎年行っており、全体的に不法投棄は少なくなっているのですが、まだまだ多くの空き缶やペットボトルなど回収されました。



作 業 前 説 明



湖畔周辺のゴミ拾



ゴミ拾い作業中



集合写真

4. 東 海

『明治用水明治本流水路の除草・清掃活動』

令和元年9月11日(水)に愛知県豊田市永覚町高根地内の明治用水明治本流水路の除草・清掃活動が行われ、33名(会員29名)の参加がありました。

明治用水は、愛知県三河地域の農業を支える重要な用水路で、近年では国営矢作川総合農業水利事業によって改修されました。この改修を契機に側道も整備され、用水管理や地域の人たちの通学や散歩などにも利用されています。

今回の実施場所は、夏草が繁茂し用水管理への影響や管理道路の見通しが悪く景観も損ねていたため、明治用水土地改良区からの依頼により、除草・清掃活動を行ったものです。

当日は、残暑厳しく湿度の高い天候の中、草刈り機や鎌を使って、汗だくの中での作業でしたが、昼前には無事に終えることができました。

作業中は、散歩している方からお礼の声をかけて頂くなど、本活動が地域の環境保全に役立っていることが実感できた有意義な一日でした。



作業後の集合写真



上流部の作業風景(管理道路等の除草)



中流部での作業風景(水路フェンスの除草)



下流部での作業風景

『矢作川用水地区(西尾幹線水路)の除草・清掃活動』

令和元年 10 月 18 日(金)に矢作川用水地区西尾幹線水路(アイシン南エリア)の用水上部及び排水路周辺部の草刈、枝払い、除草などの清掃活動に 27 名(会員 25 名)参加した。

活動実施場所の西尾幹線水路(アイシン南エリア)は、新矢作川用水農業水利事業により老朽化した施設を改修した農業用水路です。本事業により用水路が暗渠化されたためゴミ投棄などの防止が図られましたが、排水路への土砂流入・周辺用地からのツル草等の繁茂により景観が損なわれていました。

当日は、あいにく作業の途中から本降りの雨になったため、ずぶ濡れになりながら作業を行い、午前中には清掃活動を終えることができました。刈り取った草などは軽トラックで処理場に搬出しました。



ツル草等の生えた水路



作業状況



作業終了



作業後の集合写真

宮田用水大江排水路の除草・清掃活動

令和元年11月28日から11月29日に愛知県一宮市～稲沢市～あま市において、宮田用水大江排水路の除草・清掃活動に参加しました。参加者は、1日目60名、2日目42名の合計102名(会員36名)でした。

宮田用水路は、愛知県の濃尾平野を流れる用水路で、国営事業で用水路と排水路が分離され、用水路は管路化、排水路は大江排水路として地域排水を流入させて開水路で流下させています。今回の除草・清掃活動の範囲は、大江排水路内の除草・清掃活動で、約12kmの広範囲を二日間で清掃することにしました。1日当たり四班編成で作業エリアを区切り、各班は上流と下流から同時に作業を開始することで作業の効率化を図りました。大江排水路の左右岸の管理用道路は地域の人の散歩やジョギングコースで、水路内がきれいになったことでこれからも気持ちよく散策ができることでしょう。



1日目：水路内の清掃作



1日目：作業前の集合写



2日目：石積の除草風景



2日目：作業前の集合写

『宮川用水地区 斎宮調整池周辺の側溝土砂上げ及び除草・清掃活動』

令和元年12月3日に三重県多気郡明和町（斎宮調整池）で行われた宮川用水地区 斎宮調整池周辺の側溝土砂上げ及び除草・清掃活動に59名（会員35名）参加した。

斎宮調整池は、国営宮川用水第二期事業（H7～24）で造成された貯水量200万 m^3 の調整池で、周辺は散歩コースとして地域の住民に活用されています。

本年度の活動は、斎宮調整池周辺（資材置き場等）の草刈り、側溝の土砂上げなど、3班に分かれて作業を行いました。

当日は、晴天には恵まれたものの風が強く寒い中での活動でしたが、無事作業を終え地域の環境保全に役立っていることが実感できました。



作業風景・法面の草



作業風景・側溝の土砂



作業風景（資材置き場の草刈



作業後の集合写

5. 近畿

『第26回丹後援農支援ボランティア及び現地ほ場見学会』

令和元年5月25日(土)13時～16時、丹後援農支援ボランティアと5月26日(日)9時～12時、現地ほ場見学会を実施しました。

場所は京都府京丹後市弥栄町、久美浜町(鳥取1団地、谷団地、永留7団地)で、参加者は丹後援農支援ボランティア32名(会員6名)、現地ほ場見学会は8名(会員5名)でした。

丹後援農支援ボランティア活動は、鳥取1団地のファームポンド管理用道路、水源施設周辺の樹木伐採・草刈り及び幹線1号道路のゴミ拾いを実施。また、現地ほ場見学会は、谷団地、永留7団地において、営農者から営農状況、栽培作物等の説明を受け、ほ場の栽培状況を見学しました。

「援農支援ボランティア」

令和元年5月25日



(援農支援ボランティア参加者)



(ファームポンド管理用道路、水源施設周辺の樹木伐採・草刈り)



(幹線道路のゴミ拾い)



(ゴミの集積状況と地元農家参加者)

「現地ほ場見学会」

令和元年5月26日



(営農者からの説明)



(ほ場の栽培状況)

『第 13 回余呉湖外来魚駆除釣り大会』

令和元年 6 月 2 日(日) 午前 9 時から、水土里ネット湖北の主催により参加者 209 名(会員数8名)で開催されました。

余呉湖は琵琶湖の北部に位置する天然湖で、国営湖北土地改良事業(昭和 40 年～昭和 62 年)により、農業用水ネットワークの中心として再開発が行われた湖です。

余呉湖には多数の固有種が生息するなど学術的にも貴重であるが、ブルーギル、ブラックバス等の外来魚が異常繁殖し、固有種や在来種が減少しています。

このため、外来魚駆除対策の一環として、毎年、外来魚を釣りによって駆除する本大会を開催しています。

本大会は、釣り上げた外来魚の重量を競うもので、当日は、家族連れも含め 196 名の参加があり、駆除した外来魚の総重量は約 93kg でした。



『大和高原北部地区』環境美化運動』

令和元年6月8日(土)9時から、大和高原北部土地改良区主催による上津ダム及びダム湖周辺(奈良県山辺郡山添村)の環境美化運動が参加者 203 名(会員数6名)で実施されました。

当日は低気圧の影響で心配された雨も前日には降り止み、草刈り作業に丁度良い曇天の下、大和高原北部地区の水源地である上津ダム及びダム湖周辺の環境美化運動が実施されました。作業範囲が広範囲であることから、沢山の人が参加してくれます。受付開始時には既に駐車場は満車状態となっておりました。改良区から作業内容及び班割り等が説明された後、今年は、斜面の草刈りも快適に可能であるリモコン式自走草刈機のデモンストレーションが実施されました。

草刈り作業は 40 度傾斜面まで可能であると説明されましたが、ダム周辺の法面は 40 度以上であり、生い茂った急傾斜の作業には手慣れた人力に頼るしかありません。決められた時間内には、左右岸の長大な法面もきれいに刈り取られ、渋みの中に旨味があり、「味スッキリ!」の「大和茶」等で喉を潤し、気持ち良く作業を終えることが出来ました。



『管理支援ボランティア活動(亀岡地区)』

令和元年8月31日(土)に亀岡市川東土地改良区による亀岡市三日市川排水路法面草刈り及びゴミ拾い活動に参加しました。参加者は40名(会員28名)でした。

秋雨前線の影響から前日まで雨で開催が心配されましたが、当日は朝から晴れの天候に恵まれ、気持ちよくボランティア活動を実施することができました。

実施内容は例年と同じ三日市川排水路法面の草刈り作業で、法面には桜の苗木が植栽されていますが、雑草の繁殖により桜の苗木が見えなくなっていました。

草刈り作業は背丈ほどの雑草と蔓がうっそうと茂り、しかも足元が滑りやすく不安定な状態での作業で悪戦苦闘しましたが、無事に作業を終えることが出来ました。

ゴミ拾いは耕作道路、用水路、排水路沿いのゴミをゴミ袋と火ばさみを持って収拾しました。昨年に比べて参加者が15名増となり、予定範囲の作業を昨年より早めに終了することができました。



参加者



草刈作業



草刈作業



草刈完了

『永源寺ダム湖岸クリーン作戦』

令和元年10月9日(水)に愛知川沿岸土地改良区主催による、永源寺ダム湖岸(右岸アバ付近)のクリーン作戦に192名(会員74名)の参加がありました。

今年は台風19号が日本に接近している中でも晴天に恵まれ、永源寺ダムの貯水位も低く、作業するには最高の条件となりました。主催者発表では、過去最高の参加者数ということで、予定の作業終了時間が15時30分のところ、15時に作業終了となりました。作業内容は例年と同じく、湖岸に漂着した流木を参加者が集積場所に搬出・集積するもので、例年参加をしています但今年には特に大木が多く見受けられました。



集合写真



作業前の状況



流木搬出作業



作業完了の状況

『蔵王ダムクリーン作戦(グラウンドワーク in 蔵王ダム 2019)』

令和元年11月8日(金)に水土里ネット日野川流域主催による蔵王ダムクリーン作戦が滋賀県蒲生郡日野町蔵王(蔵王ダム)で開催され、106名(会員7名)の参加がありました。

滋賀県日野町にある「蔵王ダム」は鈴鹿山脈の南西「綿向山」の麓に位置しており、綿向山は神を祀る大衆の山で、標高 1,110m であることから、日野町ではその標高にちなみ、毎年 11 月 10 日を『綿向山の日』と設定しており、毎年、11 月 10 日前後に蔵王ダムクリーン作戦が開催されます。

当日は、晴天の快適なボランティア活動日和となりましたが、ダム堤体を吹き抜ける風は少し冷たく、ウインドブレーカーを必要としました。

受付を済ませると、軍手ではなく、作業用ゴム手袋が配布されます。蔵王ダムは、ロックフィルダムであり、リップラップ材の隙間に繁茂したコセンダングサやチジミザサ等の草はくっつき草で、その除去作業に適した手袋としてゴム手袋が選ばれております。

作業範囲は、広大なダム堤体法面となりますが、毎年、改良区関係者をはじめ多くの方々が参加され、効率よく作業が進められ、時間内に作業を終えることができました。



受付状況



主催者からの挨拶



堤体貯水池側法面作業状況



堤体下流側法面作業状況

『東播用水水源地里地・里山保全活動 in 西紀 2019』

令和1年11月16日(土)に兵庫県丹波篠山市西谷地区内天満神社付近の里山で行われた、東播用水土地改良区(丹波篠山木の駅実行委員会・東播用水水源地里地・里山景観・環境保全隊他)主催の「東播用水水源地里地・里山保全活動 in 西紀 2019」に38名(会員9名)が参加しました。

この活動は、東播用水の水源地域保全活動を目的とし、竹は60年経つと枯れ里山の地盤が弱くなるため、伐採作業を行った。まず、危険を伴う作業なので班編成を行い、実行委員会から4名の指導者の紹介と、実演による危険防止の説明を受けた。作業の段取りは、5m 近く成長した孟宗竹の手鋸伐採⇒ロープ引っ張り(倒れる方向のかじ取り)⇒人力引き出し⇒搬出(粉碎機によるチップ化)作業で、危険を伴う作業のため、あまり多くの伐採はできなかった。来年も同じ作業を実施する予定である。

実行委員による注意事項の説明



参加者による孟宗竹伐採作業



参加者による孟宗竹伐採作業



ロープの結び方講習



『一の木ダム周辺クリーンアップ作戦』

令和元年11月16日に奈良県五條市野原(五条吉野地区)で行われた、五條吉野土地改良区、五條吉野基幹水利施設管理協議会主催による「一の木ダム周辺クリーンアップ作戦」に64名(会員5名)が参加しました。

活動内容は、一の木ダム下流左岸の草刈りと付替え道路のゴミ拾いを行うもので、毎年11月下旬に西吉野柿選果場で開催される「柿の里まつり」に合わせ、一の木ダム周辺の清掃を行うものです。

作業は総勢64人が三班に分かれ、ダム下流の左岸と周辺道路のゴミ拾いを行いました。幸い天候にも恵まれ、予定の時間内にすべての作業が完了でき、達成感でいっぱいでした。作業後に柿選果場に立ち寄り、五條市特産の柿をお土産に家路に帰りました。

集 合 写



下流左岸草



付替え道路のゴミ拾い



ゴミ拾い(結果)



6. 中 国 四 国

『 2019 春季中海干拓地クリーン作戦(揖屋工区) 』

令和元年 6 月 1 日(土)午前 8:30 から、揖屋干拓地内で行われた揖屋干拓営農協議会、揖屋干拓水土里ネット主催の2019春季中海干拓地クリーン作戦に 204 名(うち会員数等 58 名)参加した。

この活動は、営農者や土地改良区が中心となり、干拓地に関係する非農家も含めた地域活動として維持管理体制の構築に向けて展開されており、毎年、春と秋の2回開催されています。作業は参加者を 6 班に分け、約200ha の干拓地内の清掃活動を実施しました。当日の空模様は絶好の作業日和で、作業は無事終了し、また、クリーン作戦終了後は、希望者による昨年の秋に植えた「玉ねぎ」の収穫(持ち帰り)と、今年の秋に収穫する「さつまいも」の定植を行いました。



開会式



参加者によるゴミ拾い



回収ゴミ



参加したNPO 会員

『 奥出雲おろちシンコウ支援活動 』

令和元年 6 月 16 日 (土) 午前 10:00 から国営横田開拓八川第4団地で行われた、地元農家及び本NPO主催の奥出雲おろちシンコウ支援活動に 12 名 (うち会員数 10 名) 参加した。

この活動は、耕作放棄地対策に取り組んでいる団地において、エゴマの植え付け及び補植と周辺の草刈作業を行うものです。

苗の定植は、機械植えのため、苗の欠株・転倒がどうしても出来てしまうので、補植班は、苗伝いに歩き、目視で定植の確認を行ない、欠株等があれば補植を行いました。

この取組は、今年で9年目になりますが、暗渠排水の実施、肥料には鶏糞を用いる等、収量のアップを目指しています。



エゴマの苗



苗補植状況



草刈り状況



参加したNPOメンバー

『 面河ダム清掃活動 』

令和元年7月27日(土)午前9:30から面河ダムで行われた道前道後土地改良区連合主催、愛媛県久万高原町協力の面河ダム清掃活動に180名(うち会員数79名)参加した。

主催者から、熱中症に注意、草刈り機の作業範囲に入らないこと、まむしに注意、水分補給をしっかりとること等の諸注意のあと清掃活動を開始しました。清掃活動は平成17年度から今回で17年目となり、地域活動として定着しています。清掃エリアは、立ち退きをされた住民の方々が、盆踊りや花火大会に使用していた、お祭り広場や広く一般の方が利用する運動広場、キャンプ場等多目的なブロックに分かれ、延べ面積は1ha以上あります。



参加者の集合写真



作業前の説明状況



作業状況1



作業状況2

『 奥出雲おろちシンコウ支援活動 』

令和元年 7 月 28 日(日)午前 9:30 から国営横田開拓八川第4団地で行われた、地元農家及び本NPO主催の奥出雲おろちシンコウ支援活動に 15 名(うち会員数 14 名)参加した。

6月16日に植栽したエゴマの茎丈は約50cm 程度となり順調に生育しており、株間の除草を行いました。また、もう一つのほ場では、蕎麦の種まきを行いました。当日は早朝から快晴で、うだるような暑さの中の作業となりましたが、無事所定の作業を終る事が出来ました。



蕎麦の種まき



畝間の除草



周辺の除草



参加したNPOメンバー

『 奥出雲おろちシンコウ支援活動 』

令和元年9月8日(日)午前9:30から国営横田開拓八川第4団地でおこなわれた、地元農家及び本NPO主催の奥出雲おろちシンコウ支援活動に12名(うち会員数11名)参加した。

6月16日に植栽したエゴマ畑の2回目の除草作業等を行いました。エゴマの茎丈は1m程度となり順調に生育しています。また、蕎麦畑に行くとも一面可愛い花畑に癒された1日となりました。

10月には美味しいエゴマが収穫出来る予定です。

*エゴマ:シソ科の一年草、油を採るために栽培される。最近、健康食品として知名度が上がっている。



エゴマ



蕎麦



蕎麦の開花



参加したNPOメンバー

『 七区小学校出前授業 』

令和元年10月4日(金)午前8:50から小学校をスタートし、児島湖流域の用排水機場や用水路、干拓堤防を見学する、児島湾土地改良区主催の七区小学校出前授業に4年生児童15名他教諭2名、七区土地改良区2名、南区役所3名NPO会員4名が参加した。

出前授業は21世紀土地改良区創造運動の一環として、地元小学生に既存する農業用施設を見学するとともに干拓の歴史等を学び、自分たちが住んでいる七区について知識を深める目的で行った。なお、この小学校は岡山市中心部に近く混住化が進んできており、非農家の児童も相当数いるとのこと。

児童たちは、干拓の歴史は古く、江戸時代から順次行われていたことや昔の堤防を見てびっくりするとともに、これらの施設を土地改良区の人たちが一生懸命に管理していることを熱心に学んでいました。



開 会



用水機場での見学



熱心に聞き入る児童



集合写真

『 農村災害ボランティア活動について 』

令和元年 10 月 10 日(木)午前 10:00 からうしおの沢池及び流域にある水源林で行われた島根県土地改良事業団体連合会・沢池整備委員会主催の農村災害ボランティア活動について 59 名(NPO 会員数 1 名)参加した。

この活動は、平成 22 年農林水産省のため池百選に選定された「うしおの沢池」周辺の水源林保全活動として、ため池周辺と植栽地の草刈り作業を行いました。うしおの沢池周辺を地域住民と都市住民の憩いの場とした、水辺の森として整備する保全活動が 9 年前から行われており、いろんな生き物がたくさん生息するように、ブラックバスを駆除し、テナガエビ、アマサギなどが放流されています。



植樹区域の草刈り



管理道の草刈り



棚 田



集合写真

『 笠岡湾干拓地の清掃活動 』

令和元年 10 月 12 日(土)に干拓地で行われた笠岡湾土地改良区主催の笠岡湾干拓地の清掃活動に 518 名(うち会員関係数 70 名)参加した。

今年で開催 14 回目を迎える清掃活動に参加しました。清掃範囲が広いため参加者を13 班に分け、私たちNPO班は幹線道路沿いに約3km の清掃を行いました。毎年開催される「笠岡べいふぁーむ駅伝大会」のコースを中心に心地よい汗をかきました。干拓地内には道の駅や、四季を通じた綺麗な花が植え付けされており、広々とした緑空間は農業利用だけでなく、広く市民の憩いの場として利用されています。



開会式



参加者によるゴミ拾い



参加者によるゴミ拾い



参加したNPO会員

『 2019 中海干拓地「安来工区」 クリーン作戦 』

令和元年 10 月 26 日(土) 午前 9:00 から中海干拓地「安来工区」で行われた安来中海干拓営農連絡協議会及び安来市土地改良区主催の 2019 中海干拓地「安来工区」 クリーン作戦に 78 名(うち会員数 26 名) 参加した。

安来工区は島根県東部の安来市に位置し、国営中海土地改良事業として造成された干拓地のひとつ。他に揖屋工区、弓浜工区、彦名工区がある。

干拓地内では、11 月 3 日に「なかうみマラソン全国大会 2019」が開催予定であり、関係機関と共同で、清掃活動を行いました。清掃範囲は、干拓地内全域と広範囲なため、参加者を団体ごとの4班に分け、草刈り作業、ごみ拾い作業を行いました。

このクリーン作戦は、平成17年より営農者が中心となって清掃活動を始め、今年で16 年目となりますが、今年も、ごみの投棄が思ったほど多くなく、この活動が地域に理解されてきている証ではないかと感じました。



開会式の様子



参加者によるゴミ拾い



集められたゴミ



参加したNPOメンバー

川ダム施設保全活動 』

令和元年 10 月 29 日 (火) からダム湖周辺で行われた、高梁川用水土地改良区主催の小阪部川ダム施設保全活動に 43 名 (うち会員数 32 名) 参加した。

ダムは、小阪部川農業水利事業で造成された施設で、この地域は岡山県が「高梁川上流自然公園」に指定しており、美しい景観の保全保護が推進されているところであります。本活動は今年で 9 年目になります。天候にも恵まれ、ダム湖内のゴミ拾いや流木の回収を行い、心地よい汗をかきながら無事に作業を終えることができました。



開会式



ダム



作 業



参加したNPO会員

『 2019 秋季中海干拓地クリーン作戦(揖屋工区) 』

令和元年 11 月 2 日(土)午前 8:30 から揖屋干拓地内で行われた揖屋干拓営農協議会、揖屋干拓水土里ネット主催の2019 秋季中海干拓地クリーン作戦(揖屋工区)に 187 名(うち会員数 33 名)参加した。

本NPOは揖屋干拓地土地改良区と維持管理協定を結び、協力体制をとって干拓地の維持管理体制の整備に取り組んでいます。

当日は、朝から天気にも恵まれ、心地良い日和でした。清掃活動後、参加者により、今年の春に植えた「サツマイモ」の収穫と、来年の春に収穫する「玉ねぎ」の植え付けを行いました。



開会式



参加者によるゴミ拾い



回収ゴミ



参加したNPO会員

『 令和元年度児島湖流域清掃大作戦 』

令和元年 11 月 3 日(日)午前 8:30 から児島湖締切堤防会場他 7 箇所で行われた児島湖流域環境保全対策協議会主催、共催：(公財)児島湖流域水質保全基金、(公財)岡山県環境保全事業団の令和元年度児島湖流域清掃大作戦に 2,500 名(うち会員数関係 147 名)参加した。

児島湖流域の環境保全を推進いくことを目的に、毎年 9 月から 11 月を「児島湖流域環境保全推進期間」と定め、この期間の主要行事として、流域住民の理解と協力のもと、岡山県、国、流域関係市町(岡山市・倉敷市・玉野市・総社市等)、民間団体等が一体となり、児島湖及び流入河川等において一斉清掃等を実施し、県民の意識高揚を図ることとしています。実施日は、毎年 11 月の第一日曜日とされており、今年で 33 回目となります。



開会式



参加者によるゴミ拾い



回収されたゴミ



参加したNPO会員

7. 九州

『大蘇ダム堤体周辺及び管理用道路の清掃活動』

令和元年8月21日(水)の午前9:30から、大野川上流地域維持管理協議会主催によるダム堤体周辺及び管理用道路の草刈り、側溝の土砂上げ等の清掃活動が行われ、参加者は191名(会員40名)であった。

現在の大蘇ダムは貯水池の浸透抑制対策工事がほぼ完成し、来年3月には事業完了となります。今年も、これまでに造成されたダム堤体周辺と管理用道路の枝打ちや草刈り及び側溝の土砂上げ等の作業を実施しました。

残暑厳しい中、参加者は草刈り機や鋸、鎌、スコップなど、思い通りの道具を持ち寄り、約2時間余りで予定の作業を終えることが出来ました。作業後、疲れた身体でダムの天端に佇むと、満水になった湖面を吹いてくる涼しい風に初秋を感じるひと時でした。



大蘇ダム天端での参加者



ダム直下での土砂上げ作業



軽トラックでの集積運搬作業



作業後ダム天端で佇む参加者

『横島海岸堤防一斉清掃活動』

令和元年8月24日(土)に玉名市主催による横島海岸堤防沿いの一斉清掃活動が行われ、500名(会員 29名)の参加がありました。

この一斉清掃(ごみ収集・除草)は、海岸樋門等維持管理事業、黄化葉巻病対策、横島漁業協同組合の有明海クリーンアップ事業の一環として開催され、本支部から会員、会員の同僚等を含めると約150名を数えます。

有明海は海苔養殖が盛んで、この活動は海苔養殖作業開始前に漁協が主体となり海岸の一斉清掃を行うものです。毎年の恒例活動であり、熊本県内を中心に他の地域からもたくさんの方が参加されています。この日は、早朝から生憎の曇り空で小雨のぱらつく中の開会式となりましたが、作業中は雨もやみ、清掃された海岸と集められたごみの山を見ながら達成感を感じる1日でした。



参加者の集合写真



開会式



作業状況



ゴミ収集状況

『大浜海岸堤防一斉清掃活動』

令和元年8月25日(日)に熊本県玉名市にある国営玉名横島海岸保全事業地区内で行われた「大浜海岸」の一斉清掃活動に参加しました。

この活動は、大浜漁協(大浜海岸)主催によるもので、150名(会員16名)の参加がありました。

有明海はノリ養殖業が盛んですが、この清掃活動はノリ養殖作業開始前のこの時期、沿岸4県漁協が主体となり有明海沿岸を一斉清掃するものです。

本年は、横島海岸(主催:玉名市)が8月24日(土)に、大浜海岸(主催:大浜漁協)が8月25日(日)に開催されました。



8月25日(日) 大浜海岸

ゴミ収集状況



『阿蘇水源涵養林下草刈り活動』

令和元年9月6日(金)に黒川・白川河川流域水土里ネット連携協議会主催による、阿蘇市一の宮坂梨日の尾原野「水土里ネットの森」 面積約6ha の下草刈り活動に参加しました。参加者は、257名(会員11名)でした。

「～みんなで守ろう！～阿蘇山麓の清らかな水を白川中流・下流域へ」を合い言葉に、平成17年度から6haの水源かん養林として広葉樹15,000本が植樹され、下草刈り作業など育成・管理が行われています。今年も阿蘇の恩恵を受けている下流関係団体等の関係者総勢257名が参加しました。

また、当該流域には、供用400年を超えるかんがい用水群があり、昨年8月13日には「白川流域かんがい用水群」として世界かんがい施設遺産に登録されました。



参加者 集合写真



会員 参加者



一斉に草刈り開始



作業完了写真

『旧

玉名干拓施

『設(明丑・末広潮受堤防)の草刈り活動』

令和元年10月26日(水)に横島町文化財保存顕彰会主催による、熊本県玉名市の旧玉名干拓施設(明丑・末広潮受堤防)で行われた草刈り活動に参加致しました。参加者は300名(会員25名)でした。

旧玉名干拓施設は明治 20 年代以降に築かれ、大正期及び昭和初期に発生した潮害後に熊本県を中心として復旧、改造された海面干拓施設で、施設は末広開、明丑開、明豊開の4所の潮受堤防がほぼ連続的に築かれ、総延長 5.2km に及びます。

本年度は、同施設の西側の明丑潮受堤防・末広潮受堤防(2.8km)を対象に、草刈りを実施しました。

当日は早朝から集合し、各自持参した草刈り機、鎌などで、堤防に生えた雑草や雑木の除去を開始しました。曇り空のもとでの作業となったこともあり、無事に作業が進み予定時間内(9 時)に対象範囲の草刈りを終えることが出来ました。

参加者の集合状況



草刈り作業状況



草刈り作業状況



作業後の状況



『天神ダム周辺(千本さくら等)環境整備活動に参加』

令和元年11月30日に大淀川右岸地区管理体制整備推進協議会主催の宮崎県の天神ダム周辺(左岸側;都城市山之口町、右岸側;宮崎市田野町)で行われた環境整備活動に293名(会員20名)参加しました。

この活動は、天神ダム周辺に植栽されている“千本さくら”の管理作業を実施し、天神ダムの良好な景観の保全ならびに水源のかん養を図ることを目的に、毎年開催されています。今年も多数の参加者があり、各班に分かれて桜の樹周辺の下草刈りやごみ拾い等を行いました。朝方はかなり冷え込みましたが、天候にもめぐまれ、絶好の作業日和となりました。来年3月下旬頃には、満開のさくらの花を見ることができると思います。

開会式(ダム管理棟)



作業状況



参加者の集合写



作業後

